

原爆被爆者の想い、そして「核兵器のない世界を」の願いをニューヨークへ！



# 10万署名・NPT代表団派遣NEWS

2010年5月10日(月) No. 8 <発行>大阪自治労連核兵器廃絶運動推進委員会  
〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-13-15 TEL06(6354)7201 FAX06(6354)-7226・9584

## NPT再検討会議ニューヨーク行動大阪自治労連代表団 核兵器廃絶の願い世界がひとつに！！

### セントラルパーク前で署名宣伝行動 82筆集まる

1日、19時間かけて夜10時30分にウエリントンホテルに到着。



セントラル公園前で署名行動

2日は、ニューヨーク行動当日ということで署名提出のカウントダウンがはじまる頃、前日の時差も

疲れも感じさせず、セントラルパーク前で署名宣伝行動を行いました。英語が苦手な人にも署名ができるように「Signature please! To Abolish Nuclear Weapons」(核兵器廃絶署名にご協力を!)と書いた横断幕も用意し、また本部や代表団の各単組で用意した「鯉のぼり」や「手作りゼッケン」「NO NUCLEAR WEAPON (核兵器なくさなアカンでー)」横断幕など多彩で目立った宣伝をし、折り紙でつくった「ハート鶴」をプレゼント。通行するみなさんに喜ばれました。署名は、周辺でたく



てんびんちゃんもパレードに参加

さんの団体が署名行動を行っている中で、1時間余りで82筆集まりました。

### ニューヨーク行動に1万人が参加

午後1時にはじまったニューヨーク行動には、日本から参加した日本原水協からの参加者1500人(日本人全体では2000人)を含め1万人が参加。大阪自治労連代表団は、宣伝行動と同様に横断幕など思い思いの宣伝グッズを持ち、黄色の大阪代表団Tシャツと青年法被を着て、行動に参加。多くの報

道関係者や参加者から人気の的となり、アピールすることができました。

パレード前の集会は

2時間にわたって行われました。集会では熱のこもったアピールには声援も入り、1万人の一体感ある集会でした。

そしてパレード。前回のような道幅一杯使ったパレードを期待したのですが、10列縦隊のパレードになったものの、さすがに1万人のパレードは迫力満点。途中からはプラスバンドも加わり、雰囲気は最高潮!後ろの方は、まったくどうなっているのかもわからない状況でしたが、2時間30



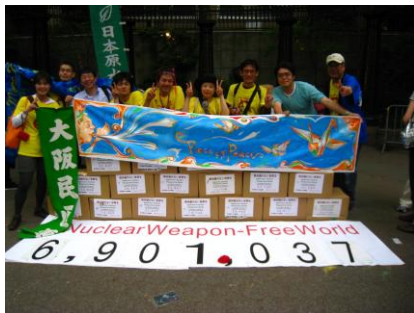
シュプレヒコールに合わせ、パレードがスタート



分けて国連前に到着。隣接するハマースョルド公園広場に到着しました。

## 積み上げられた署名は690万筆 NPT議長と国連軍縮上級代表に署名手渡す

カバクテランNPT議長とデュアルテ国連上級代表は、1時間遅れたパレードにも、「私は署名を受け取るために来ています。みなさんのことをここで待ちます」と国連前で待ち受け、パレードの先頭が



690万筆の署名（後ろにもうひとつ山）

到着した時に、歴史的な署名提出が行われました。

そして、署名が積み上げてあるハマースョ

ルド公園に「690万筆の署名をこの目で見てみたい」と爆発騒ぎで警察の警戒が厳しく道路を封鎖しているところを「私は明日からはじまるNPTの議長です。署名を見に行きます」と説得し、決意みなぎる2人に、周辺にいた関係者は感動していました。

## 世界各国の労働者、

### そしてニューヨーク市労組と交流

3日は、朝から代表团全員で「米反戦労働者連合交流集会」に参加。イラク反戦運動から生まれた米労働運動史上初めての全国的反戦組織で、イラク・アフガン反戦運動に取り組む USLAW との交流を行いました。

そして午後からは、各地方組織代表の参加で自治労連企画として「ニューヨーク市職員組合との交流会」に参加。ニューヨーク市に働く労働者の運動について賃金闘争や労働相談など各分野から報告を受けました。最後には、各地方組織からのプレゼント



NY市職員組合副委員長にプレゼント

を贈りました。大阪自治労連からは、折り紙でつくった「ハートつる」、千羽鶴、そして大阪府下自治体非核

施策一覧（英語版）をプレゼントしました。

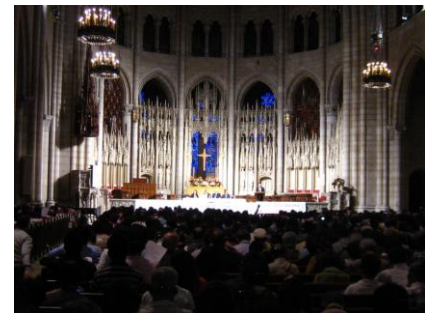
## 690万筆署名やニューヨーク行動が世界を動かす！

### 歴史あるリバーサイド教会で公開シンポ

この日も休みなく行事があり、すぐに場所をマーチン・ルーサー・キング牧師がベトナム戦争に反対する演説を行った歴史あるリバーサイド教会に移し、平和コンサートに続いて、「核兵器禁止・廃絶のプロセスをいかに踏み出すかー政府代表と平和運動の対話」と題する公開シンポジウムに参加し、この会場いっぱいの1600人が参加しました。

シンポは、日本原水協の高草木事務局長が今回のNPT再検討会議に至るまでを報告。続いてエジプト軍縮大使ヒシャム・バドルさんから「パレードを見て、みなさん

の活動に勇気づけられた」として「NPTの最終合意文書に『核兵器廃絶条約の交渉開始』を盛り込むよ



歴史ある教会でのシンポジウム

う求める声明を発表。アメリカフレンズ奉仕委員会のジョセフ・ガーソンさんは、「草の根の力がないと核兵器の廃絶はなしえない。日本からの2000人の参加に勇気づけられた。核兵器廃絶条約の制定を」と訴えられました。他にCND副議長のセーラ・カーチンさん、アメリカピースアクションのポール・マーチンさんがそれぞれ発言。

最後に高草木事務局長は、690万筆の署名やニューヨーク行動がNPT再検討会議の代表に響いている。今回のNPT再検討会議は、核兵器廃絶へのスタート。このとりくみを次は、原水禁世界大会につなげようと呼びかけました。

### 自治体のつどいでは、大阪の「元気」を紹介

4日は、ようやく午前中だけ自由行動。そして午後からは、自治労連主催の「自治体労働者のつどい」が行われました。この場には、平和市長会議を代表して秋葉広島市長、田上長崎市長が挨拶に来られました。偶然にも私たち大阪自治労連代表団の報告を

前に待機していたら、秋葉市長が出てこれ、私たちと写真を撮っていただき、みな一同に感激！

そして、フランス平和自治体協会ヴィルジュイップ市のアラン・ロイ市議会議員から連帯のあいさつ。



自治体のつどいで報告する中嶋団長

世界の被爆者からマーシャル諸島共和国の代表と元第五福竜丸乗組員の大石又七さんからあいさつを

受け、各地方組織からの取り組みの報告を行いました。

大阪自治労連からは、全員が法被を着て「メッセージ鯉のぼり」と横断幕を持って前に出て、中嶋団長から26人の代表団で学習もし、メッセージやハ



秋葉広島市長と議長とのツーショット

ート鶴の取り組みなど6か月間の取り組みを紹介しました。最後にフランスの代表に「ハ

ート鶴」・千羽鶴・メッセージ鯉のぼり・府下自治体非核施策一覧（英語版）をプレゼントしました。

## 世界各国の青年が活動交流

そして、公式行事としては最後となる「核兵器な



行事の合間にグラウンドゼロを訪問、千羽鶴を捧げる

くそう・世界青年のつどい」に自称青年も含めて参加。はじめに「あの日、あの雲の下で」のスライド上映にはじまり、兵庫県の被爆者・貞清百合子さんの被爆証言に涙し、その後、フランス平和自治体協会からアラドン市

長と学生の又アイエさん、アメリカから反核の会コーディネーターのジェニファー・ノーズストロームさん、イタリアから核兵器廃絶世代ヨーロッパの創設者・シオルジョ・アルバさん、ドイツの核兵器廃絶プロジェクトのカトリーナ・ベルグマンさんが活動報告、そして日本からは、兵庫の高校生ダンスパフォーマンス「カートゥーン・ヒーローズ」のダンスなど多彩な内容でした。そして、1分間スピーチで大阪からは此花から参加した辰巳孝太郎さんの報告に大阪自治労連から法被を着て参加しました。終了後、世界各国から参加した青年にハート鶴をプレゼントしました。

## 「ステキな経験ができた」「この経験をプラスに変えたい」代表団から新たな決意！

こうして6日間のハードな日程をこなした代表団26人は、「素敵な経験が一杯できて、本当に充実した時間を過ごすことができました」「小さな力だけど大切なものを見つけ、これから何をすべきか、より深く考えることができました」「NYに来て本当に良かった！」「NYでの学習・活動とともにとっても有意義なものになりました。この経験をプラスに変えたいと思います」「NYでの行動、そして数ヶ月間の準備、どれも人生においてステキな経験となりました」などたくさんの感想が寄せられました。

ひとつひとつは小さなことでも、署名やカンパ、メッセージが歴史を変えるこうした場で生きてくることが実感できることになりました。日本原水協の高草木事務局長が「NPT再検討会議が核兵器廃絶にむけたスタートだ」とまとめられていたように、今回の経験をこれから職場に伝え、さらに幅広い核兵器廃絶にむけた取り組みをさらに大きくすすめましょう。



